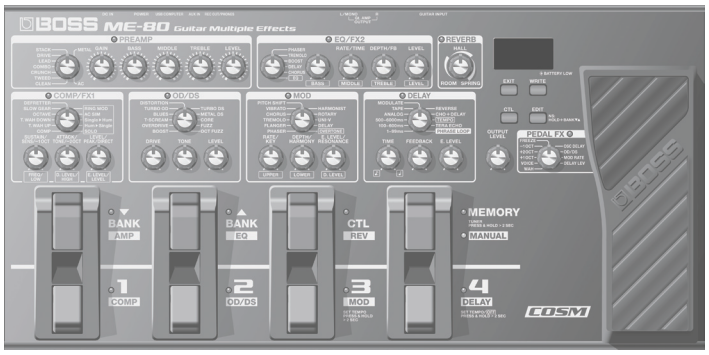
# Guitar Multiple Effects ME-80

取扱説明書





**各部の名称とはたらき . . . . . 2**
トップ・パネル . . . . . 2
リア・パネル（機器の接続） . . . . . 3

**音を出す . . . . . 4**
電源を入れる／切る . . . . . 4
音量を調節する（アウトプット・レベル） . . . . . 4
ギターをチューニングする（チューナー） . . . . . 4

**エフェクトの使いかた . . . . . 5**
エフェクトの接続順 . . . . . 5
COMP/FX1（コンプレッサー／エフェクト 1） . . . . . 5
OD/DS（オーバードライブ／ディストーション） . . . . . 6
MOD（モジュレーション） . . . . . 7
DELAY（ディレイ） . . . . . 8
PREAMP（プリアンプ） . . . . . 9
NS（ノイズ・サプレッサー） . . . . . 9
EQ/FX2（イコライザー／エフェクト 2） . . . . . 10
REVERB（リバーブ） . . . . . 11
PEDAL FX（ペダル・エフェクト） . . . . . 11

**音色を保存する／呼び出す（メモリー・モード） . . . . . 12**
パッチの構成 . . . . . 12
マニュアル／メモリー・モードを切り替える . . . . . 12
メモリー・モードからマニュアル・モードに切り替えたときの動作を設定する . . . . . 12
音色を保存する（パッチ・ライト） . . . . . 12
音色（パッチ）を呼び出す . . . . . 13
バンクを切り替えたときの動作を設定する . . . . . 13
音色の設定を変える（メモリー・エディット・モード） . . . 13

**便利な機能 . . . . . 14**
演奏テンポに合わせた効果をつける（タップ・テンポ） . . . 14
モジュレーションの速さやディレイ・タイムをペダルで設定する . . . . . 14
フレーズ・ループ演奏をする . . . . . 15
エクスプレッション・ペダルの調整 . . . . . 15
[CTL]（コントロール）ペダルの機能を設定する . . . . . 16
ペダルの機能を設定する . . . . . 16
ペダルを押したときの動作を設定する . . . . . 16

**パソコンと USB 接続して使う . . . . . 17**
USB 接続の前に . . . . . 17
USB ドライバーのインストール . . . . . 17
パソコンを接続する . . . . . 17
パソコンと ME-80 の間でオーディオ信号を送受信する . . . . . 17
パソコンと ME-80 の間で MIDI 情報を送受信する . . 17

**機器全体の設定をする（システム設定） . . . . . 18**
システム設定方法 . . . . . 18
設定項目一覧 . . . . . 18

**工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット） . . . . . 18**

**資料 . . . . . 19**
トラブルシューティング . . . . . 19
主な仕様 . . . . . 19
プリセット・パッチ一覧 . . . . . 20

**安全上のご注意 . . . . . 21**

**使用上のご注意 . . . . . 21**

**索引 . . . . . 22**


本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』『使用上のご注意』（別紙『はじめにお読みください』、取扱説明書 P.21）をよくお読みください。また、本機の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

© 2013 ボス株式会社 本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。

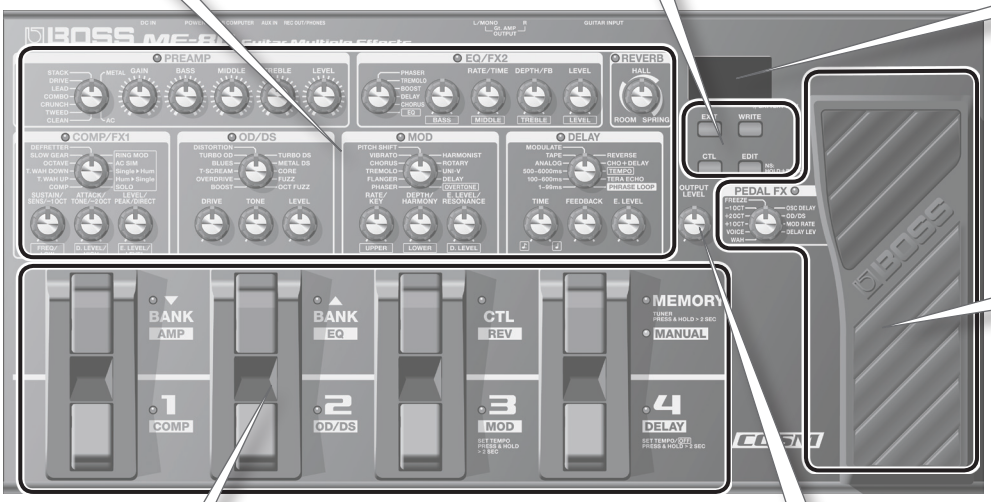
# 各部の名称とはたらき

## トップ・パネル

### エフェクト設定つまみ

ME-80 に搭載されている各エフェクトの設定をします（P.5 ～ P.11）。

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| [EXIT] ボタン | 前の画面に戻したり、操作を取り消したりするときに使用します。 |
| [WRITE] ボタン | パッチの設定を保存したり、コピー操作を実行したりするときに使用します（P.12）。 |
| [CTL] ボタン | メモリー・モード時の、[CTL] ペダルの動作を設定します（P.16）。 |
| [EDIT] ボタン | メモリー・エディット・モードに入ります（P.13）。 |




### ディスプレイ

ME-80 のさまざまな情報を表示します。

**メモ**

電池が消耗してくるとディスプレイの BATT LOW インジケーターが点滅します。新しい電池と交換してください。

### エクスプレッション・ペダル

ペダルのつま先部分を踏み込むとペダルエフェクトのオン／オフが切り替えられます（PEDAL FX インジケーターが点灯／消灯）。

**ペダル・エフェクトがオフのとき：**
ボリューム・ペダルとして動作します。
**ペダル・エフェクトがオンのとき：**
[PEDAL FX] つまみで設定したエフェクト（ワウなど）をペダルでコントロールします。

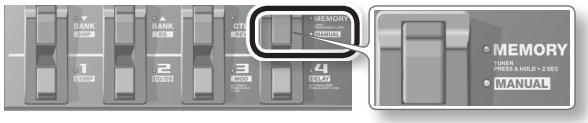
### [OUTPUT LEVEL] つまみ

Gt. AMP OUTPUT 端子と REC OUT/PHONES 端子の音量を調節します。

### ペダル・スイッチ

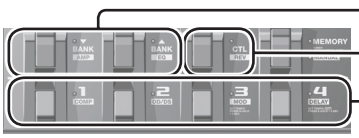
メモリー・モードでは、バンクとパッチを切り替えます。マニュアル・モードでは、各エフェクトを個別にオン／オフします。

**[MEMORY ／ MANUAL] ペダル**
メモリー・モードとマニュアル・モードを切り替えます（P.12）。
2 秒以上押し続けると、チューナーがオンになります（P.4）。




**メモリー・モードのとき**

下図のペダルでバンクとパッチを切り替えます。



バンクを切り替えます。
パッチを切り替えます。
P.16 で設定した動作をします。

**メモリー・モードとは？**

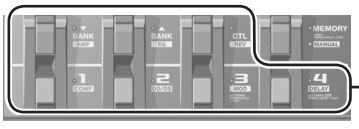
エフェクトの組み合わせと設定（音色）を 72 個の「パッチ」として呼び出せます。
72 個のうち、36 個（4 パッチ ×9 バンク）は、ユーザー・バンクに保存することができます（プリセット 9 バンク、ユーザー 9 バンク）。
ペダルを使って瞬時にバンクとパッチを切り替えることができます。

**マニュアル・モードとは？**

ペダルを使って各エフェクトのオン／オフできます。エフェクター・ボードに並んだコンパクト・エフェクターを個別にオン／オフする感覚で使用することができます。

**マニュアル・モードのとき**

下図のペダルで、各エフェクトを個別にオン／オフします。



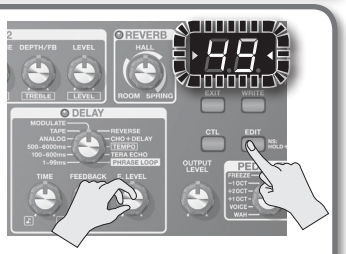
各エフェクト（COMP、OD/DS、MOD、DELAY、AMP、EQ、REV）のオン／オフ

### つまみの位置を確認する

メモリー・モード（P.12）で音色（パッチ）を呼び出したとき、設定されているパラメーターとつまみが示す位置が異なることがあります。
実際のパラメーターの値をディスプレイに表示させて、確認することができます。

**1.** **[EDIT] ボタンを押しながら、値を確認したいつまみを回します。**

つまみの値が一定時間ディスプレイに表示されます。
つまみの位置と値が一致したら、ディスプレイ左右のチューニング・ガイドが点灯します。



# リア・パネル（機器の接続）

## GUITAR INPUT 端子

ギターをつなぎます。

## AUX IN 端子

オーディオ・プレーヤーをステレオ・ミニ・プラグでつなぎます。
Gt. AMP OUTPUT 端子、REC OUT/PHONES 端子から出力される音量はオーディオ・プレーヤーの音量調節で調節してください。

## DC IN 端子

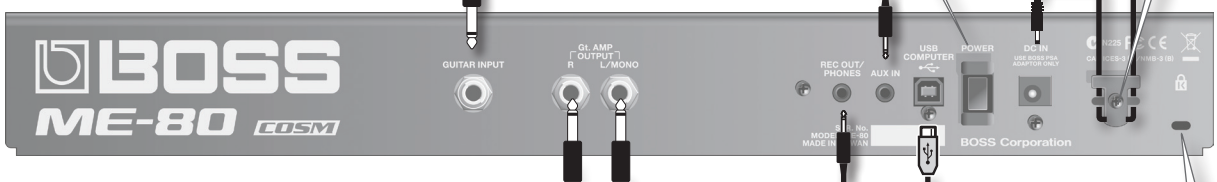
AC アダプター（BOSS PSA-100：別売）をつなぎます。

※ AC アダプターは、必ず指定のもの（PSA-100）を、AC100V の電源で使用してください。

AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックに固定してください。誤ってコードを引っ張ってしまっても、プラグが抜けて電源が切れてしまうことや、DC IN 端子に無理な力がかかることを防ぐことができます。

## [POWER] スイッチ

電源をオン／オフします（P.4）。



## Gt. AMP OUTPUT 端子

ギター・アンプやミキサーなどにつなぎます。モノで使用するときは L 端子のみをご使用ください。

## USB COMPUTER 端子

USB ケーブルでパソコンにつないで、ME-80 とパソコンとの間でオーディオと MIDI 情報を送信／受信します（P.17）。

## 盗難防止用ロック（SECURITY LOCK）

市販の盗難防止用セキュリティー・ワイヤーなどを接続することができます。
**http://www.kensington.com**

## REC OUT/PHONES 端子

別売のヘッドホンやレコーダーをステレオ・ミニ・プラグでつなぎます。
この端子にプラグを挿すと、内蔵のギター・アンプ・シミュレーターが自動的にオンになり、ヘッドホンでも迫力のあるギター・サウンドをお楽しみいただけます。このときは、Gt. AMP OUTPUT からの出力音にも同様の効果がかかります。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

## ⚠ 警告

### 電池の取り扱いに注意する

※ 間違った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などの危険があります。次のことに注意してください。

- 加熱、分解したり、または火や水の中に入れたりしないでください。
- 日光、炎、または同様の過度の熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。

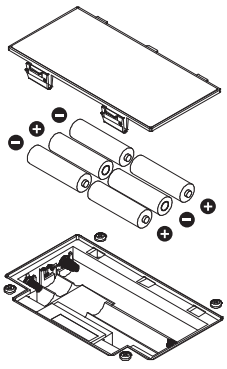
## 電池をセットする

本体底部の電池ボックスに電池をセットします。電池の向きに注意してセットしてください。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

※ AC アダプターを使用する場合でも、電池を入れておけば、万一本機から AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。

※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。『安全上のご注意』『使用上のご注意』（別紙『はじめにお読みください』、取扱説明書 P.21）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。



# 音を出す

## 電源を入れる／切る

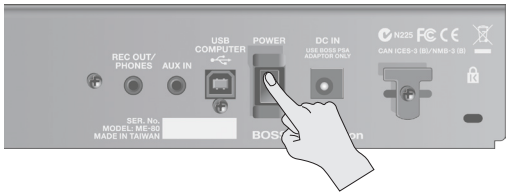
### 電源を入れる

正しく接続したら（P.3）、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

※ 本機は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。

**1. ME-80 の［POWER］スイッチを数秒間押して、電源を入れます。**




**2. 接続しているギター・アンプの電源を入れます。**

### 電源を切る

**1. 電源を切る前に、次のことを確認します。**

- 接続している機器の音量は最小になっていますか？
- 設定を変更したパッチは保存しましたか？（P.12）

**2. ギター・アンプなど、接続している機器の電源をオフにします。**

**3. ME-80 の［POWER］スイッチを数秒間押して、電源を切ります。**

**※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。**

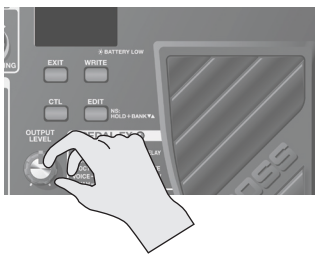
※ 自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください（P.18）。

**ご注意！**

- 電源が切れると編集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。
- 電源をオンにするときは、電源を入れ直してください

## 音量を調節する（アウトプット・レベル）

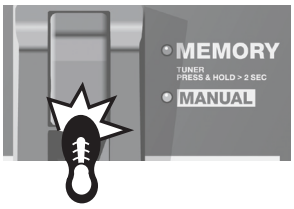
**1. ［OUTPUT LEVEL］つまみで、音量を調節します。**




## ギターをチューニングする（チューナー）

**1. ［MEMORY ／ MANUAL］ペダルを 2 秒以上押します。**

チューナーがオンになります。




**2. 必要であれば、基準ピッチを合わせます。**

［EDIT］ボタンを押すと、基準ピッチが表示されます。ボタンを押すごとに 435Hz ～ 445Hz まで値が増加します。445Hz を超えると再び 435Hz に戻ります。2 秒間［EDIT］ボタンを押さないと通常のチューナーに戻ります。

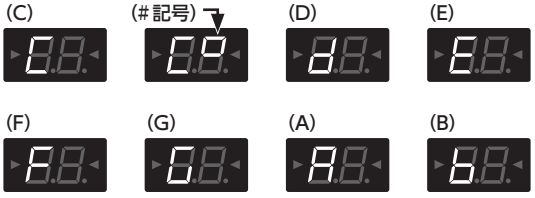
| 表示 | ピッチ |
|---|---|
| 35 ～ 45 | 435 ～ 445（Hz） |

**メモ**

- 基準ピッチは一定時間ディスプレイに表示されます。
- 基準ピッチは保存されるので、チューニングのたびに設定する必要はありません。
- 工場出荷時は 40（440Hz）に設定されています。

**3. チューニングする弦を、開放の単音で弾きます。**

弾いた弦のピッチに近い音名がディスプレイに表示されます。




**4. チューニング・ガイドが両方点灯するようにチューニングします。**

**5. チューナーをオフにするには、ペダル・スイッチのいずれかを押します。**

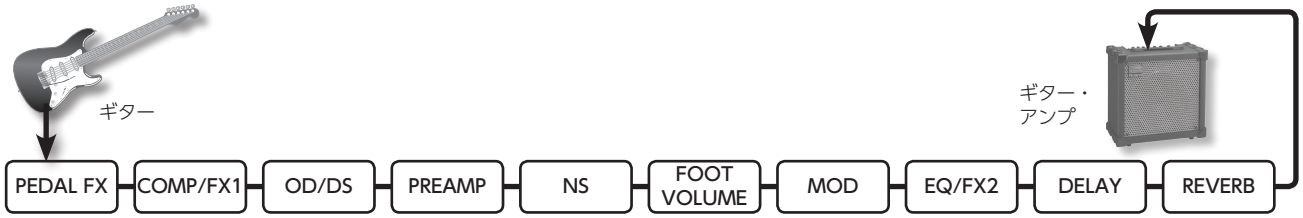
### チューナー使用時の出力設定

チューナーがオンのとき Gt. AMP OUTPUT 端子から音を出力するかしないかを設定することができます。詳しくは『機器全体の設定をする（システム設定）』（P.18）をご覧ください。

# エフェクトの使いかた

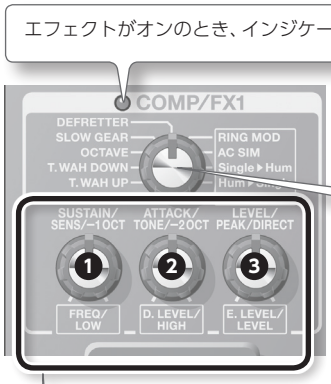
## エフェクトの接続順

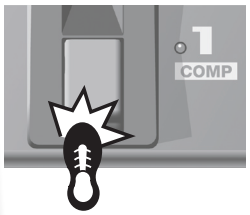
ME-80 のエフェクトの接続順は以下のとおりです。




## COMP/FX1（コンプレッサー／エフェクト 1）

音量を均一化し、音を歪ませずに延ばす効果（サステイン）が得られます。また、多様で個性的なエフェクトが選べます。




マニュアル・モード時はナンバー［1］／［COMP］ペダルでオン／オフします。

コンプレッサーまたはエフェクトの種類を選びます。

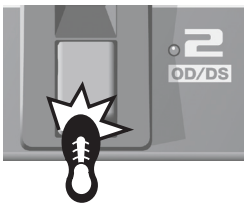
| エフェクトの種類 | 説明 |
|---|---|
| 1. COMP | 音を歪ませずにサステイン効果が得られます。<br>大入力を抑えるリミッターにもなります。 |
| 2. T.WAH UP | ピッキングの強弱に合わせてワウ効果が得られます。 |
| 3. T.WAH DOWN | |
| 4. OCTAVE | 1 オクターブ下、2 オクターブ下の音を加えます。 |
| 5. SLOW GEAR | ボリューム奏法（バイオリン奏法）の効果が得られます。 |
| 6. DEFRETTER | フレットレス・ギターをシミュレートします。 |
| 7. RING MOD | 内部発振器とギターの音を掛け合わせて、音程感のない金属的な音に変えます。 |
| 8. AC SIM | エレクトリック・ギターの音をアコースティック・ギター風に変えます。 |
| 9. Single > Hum | シングル・コイルの音をハムバッキングの音に変えます。 |
| 10. Hum > Single | ハムバッキングの音をシングル・コイルの音に変えます。 |
| 11. SOLO | OD/DS や PREAMP との組み合わせで、ソロ演奏に最適なサウンドになります。 |

| エフェクトの種類 | ❶ | ❷ | ❸ |
|---|---|---|---|
| 1. COMP | **SUSTAIN**<br>音の伸びを設定します。 | **ATTACK**<br>音の立ち上がりを設定します。 | **LEVEL**<br>エフェクトの音量を設定します。 |
| 2. T.WAH UP ／<br>3. T.WAH DOWN | **SENS**<br>入力音に反応する感度を設定します。 | **TONE**<br>ワウの音色（明るさ）を設定します。 | **PEAK**<br>クセの強さを設定します。 |
| 4. OCTAVE | **-1 OCT**<br>1 オクターブ下の音量を設定します。 | **-2 OCT**<br>2 オクターブ下の音量を設定します。 | **DIRECT**<br>ダイレクト音の音量を設定します。 |
| 5. SLOW GEAR | **SENS**<br>入力音に反応する感度を設定します。 | **ATTACK**<br>音量が最大になるまでの時間を設定します。 | **LEVEL**<br>エフェクトの音量を設定します。 |
| 6. DEFRETTER | **SENS**<br>入力音に反応する感度を設定します。 | **TONE**<br>音の明るさを設定します。 | |
| 7. RING MOD | **FREQ**<br>内部発振器の周波数を設定します。 | **D. LEVEL**<br>ダイレクト音の音量を設定します。 | **E. LEVEL**<br>エフェクトの音量を設定します。 |
| 8. AC SIM<br>9. Single > Hum<br>10. Hum > Single<br>11. SOLO | **LOW**<br>低域の量感を設定します。 | **HIGH**<br>高域の量感を設定します。 | **LEVEL**<br>エフェクトの音量を設定します。 |

# OD/DS（オーバードライブ／ディストーション）

歪みによる音色の特徴づけやサステインを得るエフェクトです。

エフェクトがオンのとき、インジケーターが点灯します。




マニュアル・モード時はナンバー［2］／［OD/DS］ペダルでオン／オフします。

オーバードライブまたはディストーションの種類を選びます。

| エフェクトの種類 | 説明 |
|---|---|
| 1. BOOST | ブースターとしてはもちろん、単体で使用してもパンチのあるクリーン・トーンが得られます。 |
| 2. OVERDRIVE | BOSS OD-1 のサウンドです。甘くマイルドな歪みが得られます。 |
| 3. T-SCREAM | Ibanez の TS-808 のサウンドをモデリングしています。 |
| 4. BLUES | BOSS BD-2 のサウンドです。 |
| 5. TURBO OD | パワフルなオーバードライブ・サウンドです。BOSS OD-2 TURBO=ON のサウンドです。 |
| 6. DISTORTION | BOSS DS-1 のサウンドです。 |
| 7. TURBO DS | 中域にクセのある歪みが得られます。BOSS DS-2 TURBO=ON のサウンドです。 |
| 8. METAL DS | BOSS METAL ZONE MT-2 のサウンドです。 |
| 9. CORE | 高速メタルリフに最適な BOSS ML-2 のサウンドです。 |
| 10. FUZZ | Electro Harmonics の Big Muff のサウンドです。 |
| 11. OCT FUZZ | Octavia（オクターブ上の音が混じる独特のファズ）のサウンドです。 |

※ 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。本書では COSM によってシミュレートされたサウンドを適切に表現するために、これらの名称を使用しています。

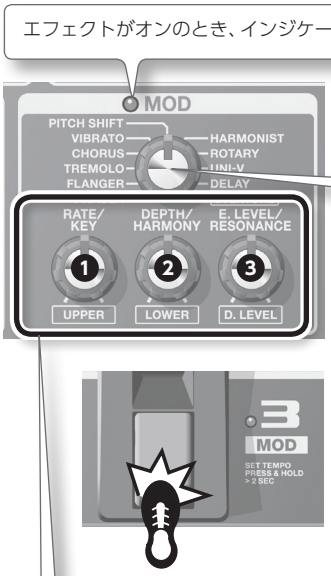
| エフェクトの種類 | ❶ | ❷ | ❸ |
|---|---|---|---|
| OD/DS の全タイプ | **DRIVE**<br>歪みの強さを設定します。 | **TONE**<br>音の明るさを設定します。 | **LEVEL**<br>OD/DS の音量を設定します。 |

**メモ**

ME-80 は、パッチの呼び出しなどをすることにより、パネル上のつまみの位置と、実際のパラメーターの値とが異なる場合があります。この状態でつまみを操作したときの、パラメーターの反応のしかたを変えることができます。詳しくは『機器全体の設定をする（システム設定）』（P.18）をご覧ください。

# MOD（モジュレーション）

音に広がりを与えたり、うねりを加えたりするエフェクトです。







マニュアル・モード時はナンバー［3］／［MOD］ペダルでオン／オフします。

モジュレーションの種類を選びます。

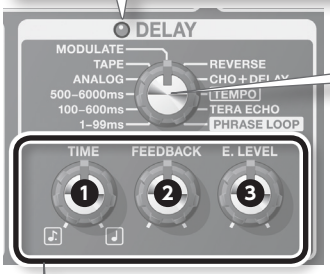
| エフェクトの種類 | 説明 |
|---|---|
| 1. PHASER | 位相をずらした音を加えて、音にうねりを与えるエフェクトです。 |
| 2. FLANGER | ジェット機の上昇音／下降音のようなうねりを与えるエフェクトです。 |
| 3. TREMOLO | 音量を周期的にかえることで、レトロな効果が得られます。 |
| 4. CHORUS | 微妙に揺れる音を加えて、広がりと厚みのある美しい音色に変えるステレオ・エフェクトです。 |
| 5. VIBRATO | 通常のギター奏法では得られない激しいビブラート効果が得られます。 |
| 6. PITCH SHIFT | 音程を ±2 オクターブ変化させることができるエフェクトです。 |
| 7. HARMONIST | ツイン・ギター風のハーモニーを作ります。<br>※ 単音で弾いてください。 |
| 8. ROTARY | 回転スピーカーの効果が得られるステレオ・エフェクトです。 |
| 9. UNI-V | 60 年代のロック・サウンドに欠かせない Uni-vibe のモデリングです。 |
| 10. DELAY | 音を遅らせ、山びこのような効果が得られます。ディレイ・タイムは 10 ～ 600ms（ミリ秒）で、第 2 のディレイとして使うことができます。 |
| 11. OVERTONE | 新たな倍音を生み出し音に厚みを加える、新次元のエフェクトです。<br>単音だけでなくコード弾きでも効果を楽しむことができ、クリーン／歪みのどちらのサウンドにもマッチします。 |

| エフェクトの種類 | ❶ | ❷ | ❸ |
|---|---|---|---|
| 1. PHASER<br>2. FLANGER | **RATE**<br>うねりの速さを設定します。 | **DEPTH**<br>うねりの大きさを設定します。 | **RESONANCE**<br>クセの強さを設定します。 |
| 3. TREMOLO<br>4. CHORUS<br>5. VIBRATO | **RATE**<br>揺れの速さを設定します。 | **DEPTH**<br>揺れの大きさを設定します。 | **E. LEVEL**<br>エフェクトの音量を設定します。 |
| 6. PITCH SHIFT | **PITCH**<br>音の高さがシフトする量を設定します。 | **D. LEVEL**<br>ダイレクト音の音量を設定します。 | |
| 7. HARMONIST | **KEY**<br>演奏する曲のキー（調）を設定します。<br>**表示例**<br>(E) (C#) | **HARMONY**<br>ハーモニーを作り出す音の高さを設定します。<br> <br>-1 オクターブ　デチューン　3 度上　+1 オクターブ | **E. LEVEL**<br>ハーモニー音の音量を設定します。 |
| 8. ROTARY<br>9. UNI-V | **RATE**<br>揺れの速さを設定します。 | **DEPTH**<br>揺れの大きさを設定します。 | **E. LEVEL**<br>エフェクトの音量を設定します。 |
| 10. DELAY | **TIME**<br>ディレイ・タイム（10 ～ 600ms）を 10ms 単位で設定します。 | **FEEDBACK**<br>ディレイの繰り返し回数を設定します。 | |
| 11. OVERTONE | **UPPER**<br>オクターブ上の、倍音の音量を調節します。 | **LOWER**<br>オクターブ下の、倍音の音量を調節します。 | **D. LEVEL**<br>ダイレクト音の音量を設定します。 |

# DELAY（ディレイ）

音を遅らせ、山びこのような効果が得られます。厚みを加えたり、トリッキーなサウンドを作ったりすることができます。

エフェクトがオンのとき、インジケーターが点灯します。



マニュアル・モード時はナンバー［4］／［DELAY］ペダルでオン／オフします。

ディレイの種類を選びます。

| エフェクトの種類 | 説明 |
|---|---|
| 1. 1-99ms | ダブリングに最適な 1 ～ 99ms（ミリ秒）のディレイです。 |
| 2. 100-600ms | ディレイ・タイム 100 ～ 600ms（ミリ秒）のディレイです。 |
| 3. 500-6000ms | 特殊効果に適した 500 ～ 6000ms（ミリ秒）のディレイです。 |
| 4. ANALOG | アナログ・ディレイのマイルドなサウンドが得られます。 |
| 5. TAPE | テープ・エコーに特有の、ゆらぎのあるサウンドが得られます。 |
| 6. MODULATE | 心地よいゆらぎを加えたディレイです。 |
| 7. REVERSE | 逆再生の効果を生み出します。 |
| 8. CHO + DELAY | ステレオ・コーラスとディレイの効果が同時に得られます<br>（コーラスの設定は固定されています）。 |
| 9. TEMPO | ペダルを使ってディレイ・タイム（テンポ）を決めます。 |
| 10. TERA ECHO | リバーブでもディレイでもない、広がりと動きのある新感覚の空間エフェクトです。 |
| 11. PHRASE LOOP | 演奏を録音してその内容の繰り返し再生ができます。<br>ライブ・パフォーマンスや練習に便利です。 |

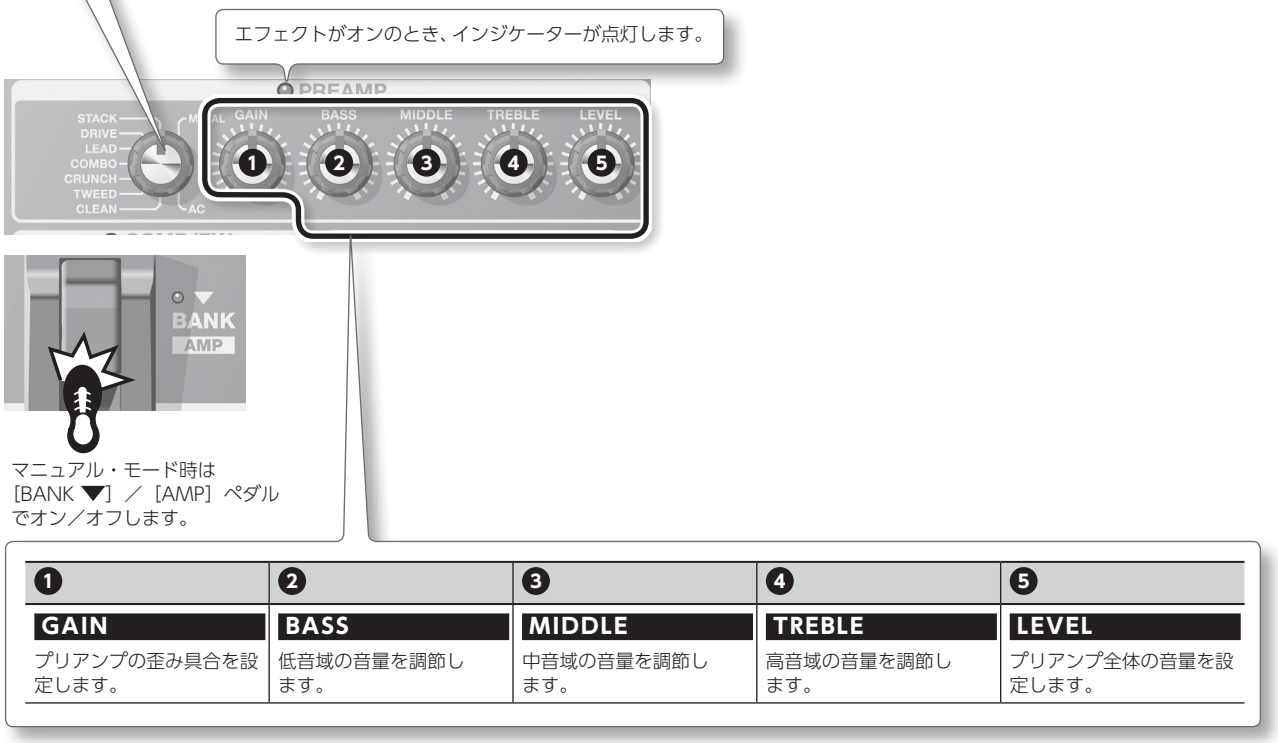
| エフェクトの種類 | ❶ | ❷ | ❸ |
|---|---|---|---|
| 1. 1-99ms | **TIME**<br>ディレイ・タイムを 1ms 単位で設定します。<br>**表示例** 2ms 99ms | **FEEDBACK**<br>ディレイの繰り返し回数を設定します。 | **E. LEVEL**<br>ディレイ／エフェクトの音量を設定します。<br>**メモ**<br>TYPE が REVERSE のときは、ダイレクト音とエフェクト音のバランスを調節します。 |
| 2. 100-600ms | **TIME**<br>ディレイ・タイムを 10ms 単位で設定します。<br>**表示例** 120ms 590ms | | |
| 3. 500-6000ms | **TIME**<br>ディレイ・タイムを 100ms 単位で設定します。<br>**表示例** 500ms 6000ms | | |
| 4. ANALOG<br>5. TAPE<br>6. MODULATE<br>7. REVERSE<br>8. CHO + DELAY | **TIME**<br>ディレイ・タイムを設定します。<br>・ ANALOG ／ TAPE ／ MODULATE：30 ～ 400ms<br>・ REVERSE：300 ～ 4800ms<br>・ CHO+DELAY：10 ～ 990ms | | |
| 9. TEMPO | ♪. ♩<br>ディレイのビートを設定します。<br>**表示例** 付点 8 分音符 4 分音符 <br>**参照** 『演奏テンポに合わせた効果をつける（タップ・テンポ）』(P.14) | | |
| 10. TERA ECHO | **TIME**<br>エフェクト音の長さを調節します。 | **FEEDBACK**<br>エフェクトの減衰具合を調節します。 | |
| 11. PHRASE LOOP | — | — | **E. LEVEL**<br>フレーズ・ループの音量を設定します。<br>**参照**<br>『フレーズ・ループ演奏をする』(P.15) |

# PREAMP（プリアンプ）

プリアンプの特性をモデリングしています。

プリアンプの種類を選びます。

| プリアンプの種類 | 説明 |
|---|---|
| 1. AC | エレクトリック・アコースティック・ギターに適したアンプです。 |
| 2. CLEAN | アンプ固有のトレブリー感やブーミーな低音のクセを抑えた、素直な ADVANCED クリーン・サウンドです。 |
| 3. TWEED | Fender Bassman の VINTAGE クランチ・サウンドです。 |
| 4. CRUNCH | 従来のコンボ・アンプの表現力を超えた、ピッキングのニュアンスを忠実に再現できる ADVANCED クランチ・サウンドです。 |
| 5. COMBO | VOX AC30 の VINTAGE クランチ・サウンドです。 |
| 6. LEAD | Boogie Mk シリーズの、伸びのある VINTAGE リード・サウンドです。 |
| 7. DRIVE | 既存のアンプでは得られなかった、ストレートで幅広いシチュエーションで使いやすい ADVANCED ドライブ・サウンドです。 |
| 8. STACK | Marshall 1959 の INPUT1 に入力した、ハードロックに適したトレブリーな VINTAGE スタック・サウンドです。 |
| 9. METAL | Bogner Uberschall のヘビー・ディストーション・サウンドです。 |




| ❶ | ❷ | ❸ | ❹ | ❺ |
|---|---|---|---|---|
| **GAIN** | **BASS** | **MIDDLE** | **TREBLE** | **LEVEL** |
| プリアンプの歪み具合を設定します。 | 低音域の音量を調節します。 | 中音域の音量を調節します。 | 高音域の音量を調節します。 | プリアンプ全体の音量を設定します。 |

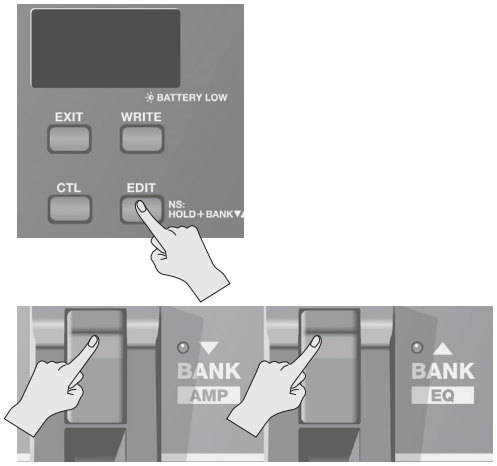
# NS（ノイズ・サプレッサー）

ギターのピックアップで拾うノイズやハムを抑えます。

**1. ［EDIT］ボタンを押しながら［BANK ▼］［BANK ▲］ペダルで、スレッショルドを調節します。**

ノイズの大きさに応じて調整します。0 にすると、ノイズ・サプレッサーはオフになります。

※ 必要以上に大きく設定すると、ギターの音が小さいときに音が出なくなることがあります。



# EQ/FX2（イコライザー／エフェクト 2）

プリアンプの後ろに接続されるエフェクトです。

エフェクトの種類を選びます。

| エフェクトの種類 | 説明 |
|---|---|
| 1. PHASER | 位相をずらした音を加えて、音にうねりを与えるエフェクトです。 |
| 2. TREMOLO | 音量を周期的にかえることで、レトロな効果が得られます。 |
| 3. BOOST | ブースターとしてはもちろん、単体で使用してもパンチのあるクリーン・トーンが得られます。 |
| 4. DELAY | 音を遅らせ、山びこのような効果が得られます。 |
| 5. CHORUS | 微妙に揺れる音を加えて、広がりと厚みのある美しい音色に変えるステレオ・エフェクトです。 |
| 6. EQ | 3 バンド・イコライザーです。 |

エフェクトがオンのとき、インジケーターが点灯します。

マニュアル・モード時は［BANK ▲］／［EQ］ペダルでオン／オフします。

| エフェクトの種類 | ❶ | ❷ | ❸ | ❹ |
|---|---|---|---|---|
| 1. PHASER | — | **RATE** うねりの速さを設定します。 | **DEPTH** うねりの大きさを設定します。 | **LEVEL** クセの強さを設定します。 |
| 2. TREMOLO | | **RATE** 揺れの速さを設定します。 | **DEPTH** 揺れの大きさを設定します。 | **LEVEL** エフェクトの音量を設定します。 |
| 3. BOOST | | **DRIVE** 歪みの強さを設定します。 | **TONE** 音の明るさを設定します。 | **LEVEL** 音量を設定します。 |
| 4. DELAY | | **TIME** ディレイ・タイム（10 ～ 990ms）を 10ms 単位で設定します。 | **FEEDBACK** ディレイの繰り返し回数を設定します。 | **LEVEL** ディレイの音量を設定します。 |
| 5. CHORUS | | **RATE** 揺れの速さを設定します。 | **DEPTH** 揺れの大きさを設定します。 | **LEVEL** エフェクトの音量を設定します。 |
| 6. EQ | **BASS** 低音域の音量を調節します。 | **MIDDLE** 中音域の音量を調節します。 | **TREBLE** 高音域の音量を調節します。 | **LEVEL** 音量を設定します。 |

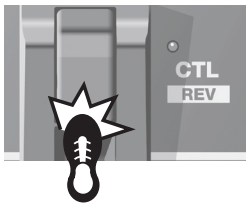
## REVERB（リバーブ）

音にステレオ効果のある残響を加えます。

リバーブがオンのとき、インジケーターが点灯します。

リバーブの種類、効果の大きさを調節します。

| リバーブの種類 | 説明 |
|---|---|
| ROOM | 室内の残響をシミュレートします。(設定値：0 ～ 49) |
| HALL | ホールの残響をシミュレートします。(設定値：0 ～ 49) |
| SPRING | スプリング・リバーブをモデリングしたリバーブです。(設定値：0 ～ 49) |

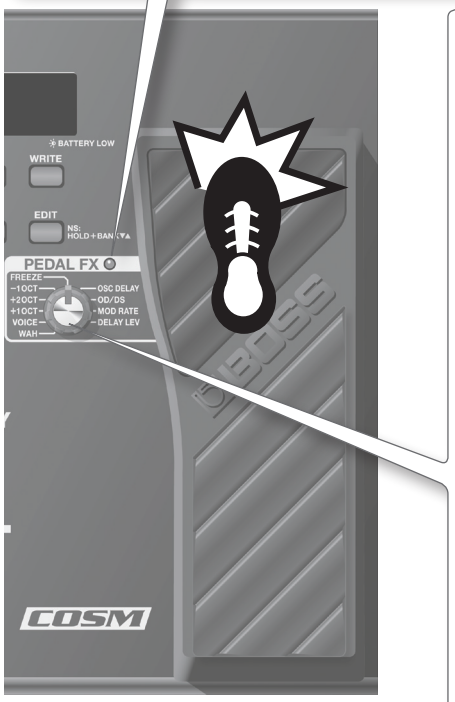



マニュアル・モード時は［CTL］／［REV］ペダルでオン／オフします。

## PEDAL FX（ペダル・エフェクト）

本体のエクスプレッション・ペダルでさまざまな効果が得られます。
エクスプレッション・ペダルのつま先部分を、体重をかけるように踏み込んでペダル・エフェクトをオン／オフします。
ペダル・エフェクトがオフのとき、エクスプレッション・ペダルは VOLUME（ボリューム・ペダル）として機能します。

ペダル･エフェクトがオンのとき､インジケーターが点灯します。




※ エクスプレッション・ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監視／指導してください。

ペダル・エフェクトの種類を選びます。

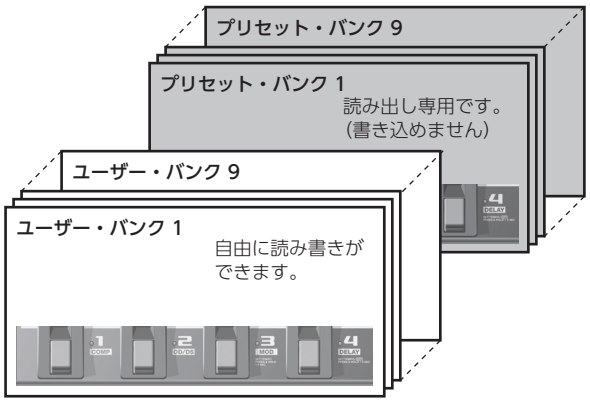
| エフェクトの種類 | 説明 |
|---|---|
| 1. WAH | ワウ・エフェクトです。 |
| 2. VOICE | ヒューマン・ボイス風のサウンドを作り出すことができます。 |
| 3. +1 OCTAVE | 原音に対して音程を +1 オクターブまで連続して変化させることができます。<br>※ 単音で弾いてください。 |
| 4. +2 OCTAVE | 原音に対して音程を +2 オクターブまで連続して変化させることができます。<br>※ 単音で弾いてください。 |
| 5. -1 OCTAVE | 原音に対して音程を -1 オクターブまで連続して変化させることができます。<br>※ 単音で弾いてください。 |
| 6. FREEZE | ペダルを踏み込むと、ギターの音色を持続させるフリーズ機能がオンになります。ペダルを踏んでいる間だけ効果がかかります。 |
| 7. OSC DELAY | FEEDBACK と TIME を駆使して得られる DELAY の発振状態を、ペダル操作だけで得られるエフェクトです。 |
| 8. OD/DS | OD/DS エフェクト使用時に、DRIVE をコントロールすることができます。<br>※ エクスプレッション・ペダルでコントロールできる最大値は、［DRIVE］つまみで設定した値です。 |
| 9. MOD RATE | MOD エフェクトを使用時に、RATE をコントロールすることができます。<br>※ エクスプレッション・ペダルでコントロールできる最大値は、［RATE］つまみで設定した値です。 |
| 10. DELAY LEV | DELAY エフェクト使用時に、ディレイ・レベルをコントロールすることができます。<br>※ エクスプレッション・ペダルでコントロールできる最大値は、［E. LEVEL］つまみで設定した値です。 |

# 音色を保存する／呼び出す（メモリー・モード）

「メモリー・モード」は、音色の設定を本体に保存し、その保存した内容を呼び出して使うことができるモードです。
メモリー・モードに対し、ペダルで各エフェクトのオン・オフができるモードを「マニュアル・モード」と呼びます。

## パッチの構成

エフェクトの組み合わせとパラメーターの設定をひとまとめにしたものを「パッチ」と呼びます。
ME-80 はパッチを 72 種類記憶しており、次のようにバンク／ナンバーで整理されています。

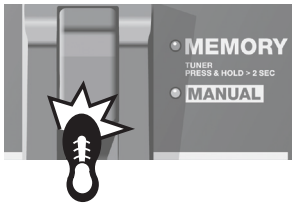



バンク内の各パッチは、ナンバー・ペダルに対応しています。

## マニュアル／メモリー・モードを切り替える

**1. [MEMORY ／ MANUAL] ペダルを押します。**

押すたびに、マニュアル・モードとメモリー・モードが切り替わります。




メモリー・モードのときは、赤色のインジケーターが点灯します。
マニュアル・モードのときは、緑色のインジケーターが点灯します。

## メモリー・モードからマニュアル・モードに切り替えたときの動作を設定する

メモリー・モードからマニュアル・モードに切り替えたとき、パネル上のつまみの設定に合わせて音が切り替わるか、メモリー・モードの音色のままにするかを選ぶことができます。
設定方法は『機器全体の設定をする（システム設定）』(P.18) をご覧ください。

| 設定値 | 説明 |
|---|---|
| n0 | マニュアル・モードに切り替えるときに、現在のつまみの設定が音に反映されます。 |
| n1 | マニュアル・モードに切り替えるときに、メモリー・モードの設定をそのまま引き継ぎます。<br>メモリー・モードでの設定のまま個々のエフェクトをオン・オフすることができます。 |

## 音色を保存する（パッチ・ライト）

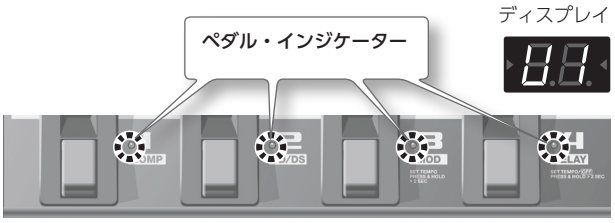
つまみの設定をパッチに保存させます。

**ご注意！**

- パッチ・ライト操作をする前に、電源を切ったり、パッチを切り替えたりすると、作った音色は消えてしまいます。
- パッチ・ライト操作をすると、保存先のパッチに保存されていた元の音色は失われます。

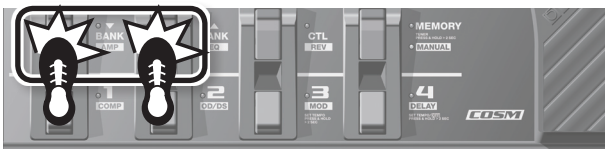
**1. [WRITE] ボタンを押します。**

ペダル・インジケーターが点滅します。

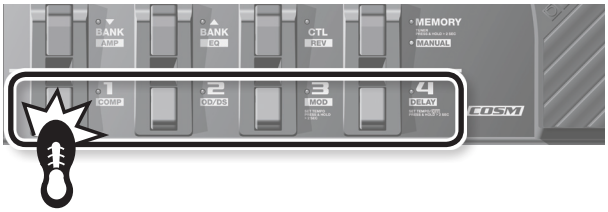



**2. 保存先のユーザー・バンク・ナンバー、パッチ・ナンバーを選びます。**

- ユーザー・バンク・ナンバーは、[BANK ▼] [BANK ▲] ペダルを押して選びます（U1～U9）。



- パッチ・ナンバーは、ナンバー［1］～［4］ペダルを押して選びます。



※ パッチ･ライトを中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

**3. もう一度 [WRITE] ボタンを押します。**

音色が保存されます。

**メモ**

- マニュアル･モード、メモリー･モードのどちらでもパッチ･ライト操作はできます。
- パッチ・ライトをすると、メモリー・モードに切り替わります。

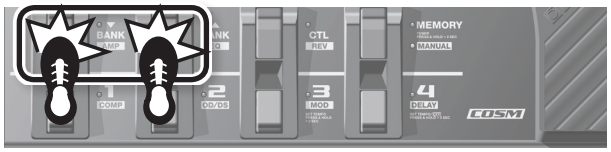
**ヒント**

パッチをコピーするには、コピーしたいパッチを呼び出したあと（P.13）、そのままパッチ・ライト操作をします。コピー先のパッチ・ナンバーを選んで保存すればコピーができます。

## 音色（パッチ）を呼び出す

パッチの呼び出し（切り替え）は、[BANK ▼] [BANK ▲] ペダルとナンバー［1］～［4］ペダルを使います。

**1. [BANK ▼] または [BANK ▲] ペダルを押します。**

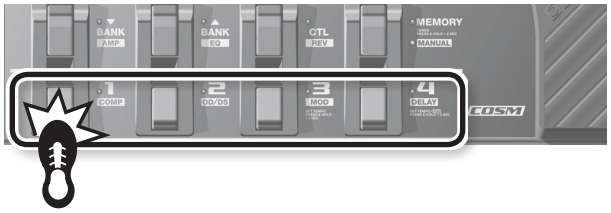



切り替えたいバンク・ナンバーを選びます。

ユーザー・バンク（U1～U9）
プリセット・バンク（P1～P9）

**2. ナンバー［1］～［4］ペダルのいずれかを押します。**

手順 1 で選んだバンク・ナンバーのパッチに切り替わります。




**ヒント**

同じバンク内のパッチを選ぶときは、手順 1 を省略できます。

## バンクを切り替えたときの動作を設定する

[BANK ▼] [BANK ▲] ペダルでバンクを切り替えたとき、瞬時に次のパッチに切り替わるか、ナンバー・ペダルを踏むまでパッチが切り替わらないかを選ぶことができます。
設定方法は『機器全体の設定をする（システム設定）』(P.18) をご覧ください。

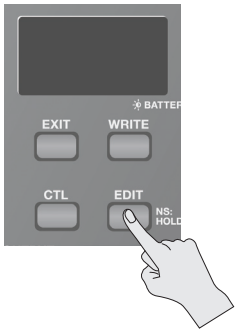
| 設定値 | 説明 |
|---|---|
| H0 | バンク・ペダルを踏んでバンクを切り替えても、ディスプレイの表示が変化するだけでパッチは切り替わりません。ナンバー・ペダルを踏んだ時点でバンクとナンバーが確定され、次のパッチに切り替わります。 |
| H1 | バンク、ナンバーのいずれかのペダルを踏んだ瞬間に、次のパッチに切り替わります。 |

## 音色の設定を変える（メモリー･エディット・モード）

メモリー・モードのときはエフェクトのオン／オフの変更ができません。エフェクトのオン／オフや音色（パッチ）の設定を変更したいときは、メモリー・エディット・モードにします。

**1. 「音色（パッチ）を呼び出す」(P.13) の手順で、設定を変更したいパッチを呼び出します。**

**2. [EDIT] ボタンを押します。**




ディスプレイに「Ed」と表示されます。メモリー･エディット・モードに切り替わります。

**3. つまみ、ペダル、ボタンを使って音色を変更します。**

メモリー・エディット・モードではマニュアル・モードと同様に、各ペダル・スイッチはエフェクトのオン／オフとして機能します。

**4. 設定を変えた音色を保存したい場合は、『音色を保存する（パッチ･ライト）』(P.12) の手順でパッチを保存します。**

パッチ・ライト操作をする前に、電源を切ったり、パッチを切り替えたりすると、作った音色は消えてしまいます。

# 便利な機能

## 演奏テンポに合わせた効果をつける（タップ・テンポ）

演奏テンポに合わせてペダルを押すことにより、演奏テンポに対して付点 8 分音符または 4 分音符のディレイ・タイムが設定できます。

**メモ**

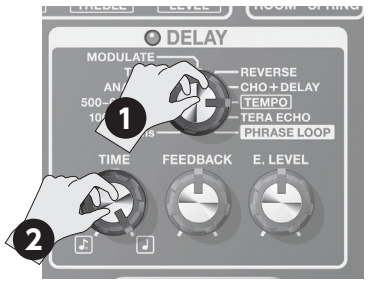
この操作は、マニュアル・モード時の説明です。メモリー・モード時は、現在選ばれているパッチのナンバー・ペダルを使って同様に操作します。

**1. DELAY のタイプつまみを「TEMPO」に合わせます。**

現在設定されているディレイ・タイムに合わせて、ペダル・インジケーターが点滅します。

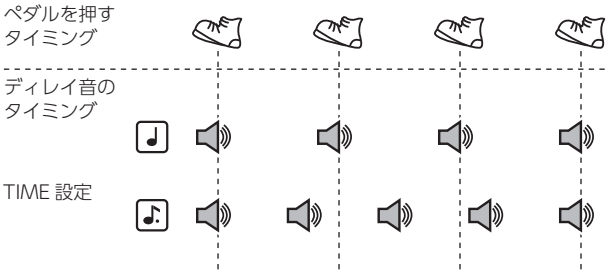
**2. [TIME] つまみを ♩ または ♩. に設定します。**

得たいディレイ音のリズムを選びます。




**3. 曲のテンポに合わせて、[DELAY] ペダルを 2 回以上押します。**

ペダルを押す間隔で、ディレイ音のタイミングが決まります。ペダルを押した間隔を 4 分音符として、付点 8 分音符、または 4 分音符のディレイ・タイムが設定されます。テンポに合わせて、ペダル・インジケーターが点滅します。




## モジュレーションの速さやディレイ・タイムをペダルで設定する

モジュレーションの速さ（周期）やディレイ・タイムは、つまみで調節できるほかに、好みのタイミングをペダルで設定することができます。

**メモ**

- この操作は、マニュアル・モード時の説明です。メモリー・モード時は、現在選ばれているパッチのナンバー・ペダルを使って同様に操作します。
- メモリー・モード時、MODULATION と DELAY の両方のエフェクトがオンのときは、ディレイ・タイムのみが設定ができます。

**1. タイプつまみで、MODULATION または DELAY の種類を選びます。**

**メモ**

MODULATION、DELAY エフェクトで以下の TYPE を選んでいるときは、ペダルを使用した設定はできません。

| エフェクト | ペダルで設定できないタイプ |
|---|---|
| MODULATION | HARMONIST<br>PITCH SHIFT<br>OVERTONE |
| DELAY | TEMPO<br>PHRASE LOOP<br>TERA ECHO |

**2. [MOD] ペダルまたは [DELAY] ペダルを 2 秒以上押し続けます。**

ペダルを押し始めてから 2 秒後に、ペダル・インジケーターが点滅します。

**3. 好みの速さで [MOD] ペダルまたは [DELAY] ペダルを 2 回以上押します。**

ペダルを押す間隔によって、エフェクトの速さが設定されます。音の揺れやディレイ音に合わせて、ペダル・インジケーターが点滅します。

**4. もう一度、[MOD] ペダルまたは [DELAY] ペダルを 2 秒以上押し続けます。**

速さの設定が終了し、エフェクト・オンの状態になります。ペダル・インジケーターは点灯に変わります。

**メモ**

設定終了後に [RATE] つまみ、または [TIME] つまみを動かすと、ペダルで設定したエフェクトのタイミングは無効になり、つまみで設定した効果が優先されます。

## フレーズ・ループ演奏をする

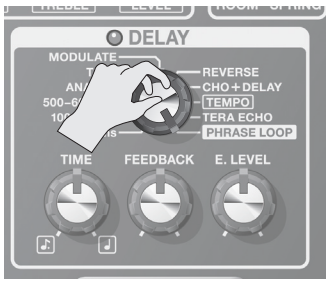
最大 38 秒までの演奏内容を録音し、その内容を繰り返し再生させることができます。繰り返し再生に合わせて別の演奏を重ねて録音（オーバーダビング）することもできます。
録音した内容をバックに演奏を続けるなど、特殊な効果を生み出します。

**メモ**

この操作は、マニュアル・モード時の説明です。メモリー・モード時は、現在選ばれているパッチのナンバー・ペダルを使って同様に操作します。

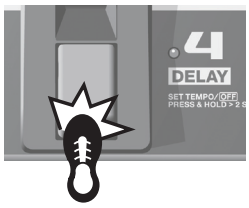
**1. DELAY のタイプつまみを「PHRASE LOOP」に合わせます。**

録音待機状態になり、ペダル・インジケーターが一定の間隔で点滅します。




**2. [DELAY] ペダルを押します。**

[DELAY] ペダルを押すと同時に録音が始まります（ペダル・インジケーターは速い点滅に変わります）。




**3. もう一度、[DELAY] ペダルを押します。**

録音が終了します。録音終了と同時に、録音した内容の繰り返し再生が始まります（ペダル・インジケーターが点灯に変わります）。

**メモ**

非常に短い録音をした場合、発振したような音に聞こえることがあります。

**4. 重ねて録音（オーバーダビング）するときは、手順 2 ～ 3 を繰り返します。**

**メモ**

TYPE つまみを切り替えたり、電源をオフにしたりすると録音内容が消去されます。

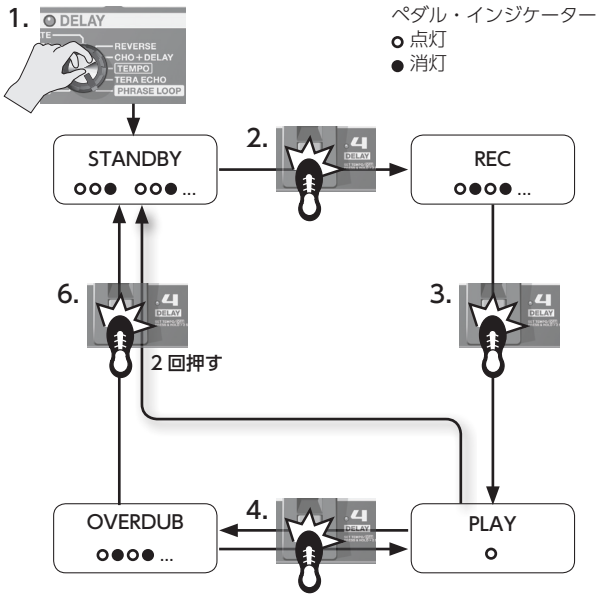
**5. [E. LEVEL] つまみで、再生音の音量を調節します。**

**6. ループ再生を終了するには、[DELAY] ペダルを素早く 2 回押します。**

再び録音待機状態に戻ります。

**メモ**

- [DELAY] ペダルを 2 回押すときは、1 秒以内の間隔で押してください。
- 再生が終了すると、録音内容は消去されます。




## エクスプレッション・ペダルの調整

ME-80 のエクスプレッション・ペダルは、工場出荷時に最適な動作をするように調整してありますが、経年変化や使用環境によってこの調整がズレる場合があります。
「エクスプレッション・ペダル・スイッチが反応しない」「ボリューム・ペダルで音が完全に消えない」などの症状が現れたときは、エクスプレッション・ペダルの調整をしてください。

**1. [MEMORY ／ MANUAL] ペダルを押して、マニュアル・モードに切り替えます（P.12）。**

**2. [EDIT] ボタンを押しながら [DELAY] ペダルを押します。**

ディスプレイに「Pd」→「UP」と表示されます。

**3. エクスプレッション・ペダルのかかと部分を踏んで足を離し、[WRITE] ボタンを押します。**

ディスプレイに「dn」と表示されます。

**4. エクスプレッション・ペダルのつま先部分を踏んで足を離し、[WRITE] ボタンを押します。**

ディスプレイに現在のエクスプレッション・ペダル・スイッチの硬さ（感度）が表示されます。
設定値：1 ～ 9

**メモ**

手順 3 と 4 でディスプレイの表示が点滅したら、エクスプレッション・ペダルを踏み込み直してから [WRITE] ボタンを押してください。

**5. [BANK ▼] [BANK ▲] ペダルでエクスプレッション・ペダル・スイッチの硬さ（感度）を調節します。**

小さな値ほど、軽い踏み込みでスイッチが反応します。

**メモ**

工場出荷時は「5」に設定されています。

**6. [WRITE] ボタンを押します。**

設定が記憶されます。

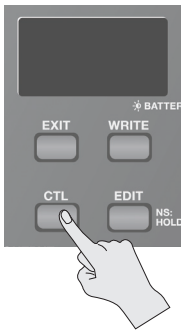
# [CTL]（コントロール）ペダルの機能を設定する

ME-80 のメモリー・モードでは、[CTL] ペダルを使って複数のエフェクトを一度にオン／オフしたり、指定したエフェクト設定つまみ（1 つのみ）の設定値を、瞬時に特定の値に切り替えたりすることができます。[CTL] ペダルの設定はパッチごとに記憶することができます。

## ペダルの機能を設定する

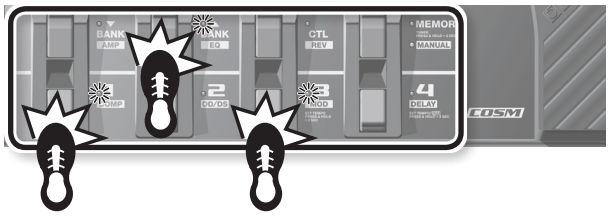
**1.** **[MEMORY ／ MANUAL] ペダルを押して、メモリー・モードに切り替えます（P.12）。**

**2.** **[CTL] ボタンを押して、CTL 設定モードに切り替えます。**




### エフェクトのオン／オフを設定する場合

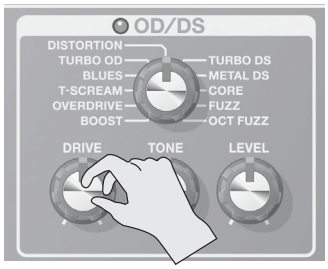
**3.** **エフェクトのオン／オフを設定したいエフェクトのペダルを押して選びます。**




選ばれたエフェクトのペダル・インジケーターが点滅します。

### 特定のつまみの値を設定する場合

**3.** **値を切り替えたいつまみを、好みの値に調節します。**




**メモ**

パッチ・ライトする前に、[MEMORY ／ MANUAL] ペダルで設定した効果を確認することができます。

**4.** **『音色を保存する（パッチ・ライト）』（P.12）の手順で設定を保存します。**

**5.** **[EXIT] ボタンを押します。**

メモリー・エディット・モード（P.13）に切り替わります。

**6.** **もう一度 [EXIT] ボタンを押します。**

メモリー・モードに切り替わります。

## ペダルを押したときの動作を設定する

手順 3 で設定した効果を、ペダルを踏むごとに切り替えるか（TOGGLE）、ペダルを踏んでいる間だけ有効にするか（MOMENTARY）を選ぶことができます。
工場出荷時の設定は、エフェクトのオン／オフが設定されているときは TOGGLE、つまみの値が設定されているときは MOMENTARY です。

**1.** **メモリー・モードから [CTL] ボタンを 2 回押します。**

TOGGLE ／ MOMENTARY の設定モードに切り替わります。

**2.** **[BANK ▼] [BANK ▲] ペダルで、設定を選びます。**

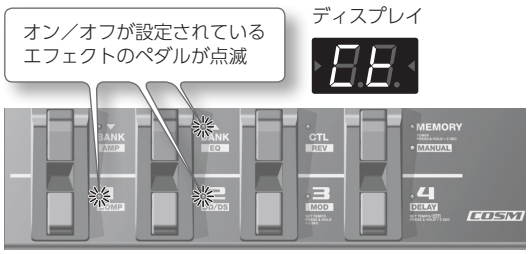
| 表示 | 設定 | 説明 |
|---|---|---|
| tG | TOGGLE | ペダルを踏むごとに効果が切り替わります（エフェクト、オン／オフ設定時の初期設定）。 |
| MO | MOMENTARY | ペダルを踏んでいる間だけ設定した効果が有効になります（つまみの値、設定時の初期設定）。 |

**3.** **もう一度 [CTL] ボタンを押します。**

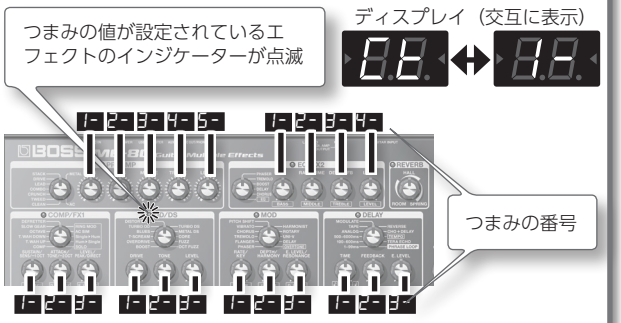
**4.** **『音色を保存する（パッチ・ライト）』（P.12）の手順で設定を保存します。**

### CTL 設定モードの表示

・現在、エフェクトのオン／オフが設定されている場合、CTL 設定モードに入るとディスプレイに「tG」と表示され、オン／オフが設定されているエフェクトのペダル・インジケーターが点滅します。




・特定のつまみの値が設定されている場合は、該当するエフェクトのインジケーターが点滅します。さらにディスプレイには「tG」と、値が設定されているつまみの番号が交互に表示されます。



# パソコンと USB 接続して使う

## USB 接続の前に

ME-80 では、USB を使って、パソコンとの間でデジタル・オーディオ信号や MIDI メッセージを送受信することができます。

## USB ドライバーのインストール

専用ドライバーを使用して、高音質かつ安定したタイミングでオーディオの録音／再生／編集をすることや、MIDI 情報で ME-80 をコントロールすることもできます。
ME-80 専用ドライバーは、ローランドのホームページ（**http://www.roland.co.jp/**）よりダウンロードすることができます。
USB 接続をする前に、専用ドライバーのインストールをしてください。
ドライバーはご使用の環境によってインストールするプログラム、手順が異なりますので、ダウンロードしたファイルの中に収録されている Readme をよく読んだ上でお使いください。

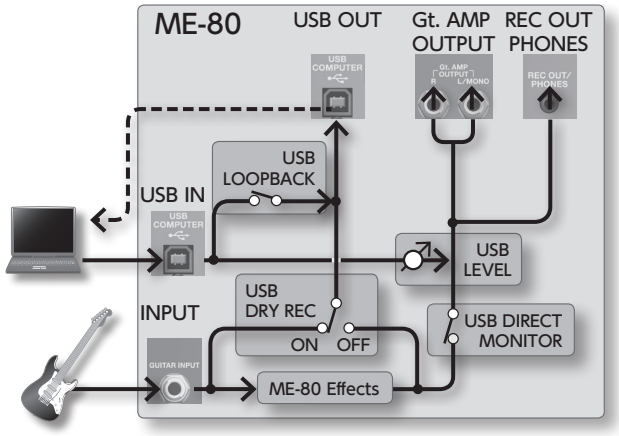
## パソコンを接続する

下図のように接続します。

## パソコンと ME-80 の間でオーディオ信号を送受信する

ME-80 の音をパソコンに録音したり、パソコンの音を ME-80 の Gt. AMP OUTPUT 端子や REC OUT/PHONES 端子から出力したりすることができます。

### USB オーディオの流れ




※ 各ソフトウェアの入力元の切り替えかたは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

## USB オーディオの設定

音の流れを用途に合わせて変更することができます。設定方法は『機器全体の設定をする（システム設定）』(P.18) をご覧ください。

| 設定項目 | 説明 |
|---|---|
| USB LEVEL | ME-80 のエフェクトを通ってきた音にミックスする、パソコンからの入力音のレベルを調節します。 |
| USB DIRECT MONITOR | ME-80 の音を REC OUT/PHONES 端子、Gt. AMP OUTPUT 端子に出力するかどうかを切り替えます。 |
| USB LOOPBACK | パソコンからの入力音を USB OUT に出力するかどうかを切り替えます。 |
| USB DRY REC | USB OUT から出力するギターの音に ME-80 のエフェクトを通すか通さないかを切り替えます。<br>パソコンからの入力は、ME-80 の OUTPUT（ギターのエフェクト音）にミックスして出力します。 |

## パソコンと ME-80 の間で MIDI 情報を送受信する

パソコンの DAW ソフトや ME-80 専用ソフトウェアを使って ME-80 を操作したり、音色のエディットやパッチ管理をしたりすることができます。

### ME-80 専用ソフトウェアを使う

専用ソフトウェアでは以下のことができます。

- メモリー・パッチの設定を編集できます。
- メモリー・パッチにパッチ名を設定できます。
- メモリー・パッチの順番を並べ替えたり、入れ替えたりすることができます。
- パッチ・ダウンロード・サイトからパッチを簡単に本体にダウンロードできます。
- メモリー・パッチと本体の設定のバックアップを保存したり、バックアップした設定に戻したりすることができます。

専用ソフトウェアは、ローランドのホームページ（**http://www.roland.co.jp/**）よりダウンロードすることができます。
使いかたの詳細については、ダウンロードしたファイルの中に収録されている Readme をよく読んだ上でお使いください。

### パッチ・ナンバーの切り替え

DAW ソフトなどからのプログラム・チェンジ情報に対応して、ME-80 のパッチが同時に切り替わります。

### コントロール・チェンジ情報の受信

コントロール・チェンジ情報を受信して、指定したパラメーターを演奏中にコントロールすることができます。

**MIDI で送受信できる情報**

| ペダル | コントロール・チェンジ | 値 |
|---|---|---|
| エクスプレッション・ペダル | CC16<br>（汎用操作子 1） | 0 ～ 127 |
| [CTL] ペダル | CC80<br>（汎用操作子 5） | ペダルを押したとき：127<br>ペダルを離したとき：0 |

※ コントロール・チェンジの送受信チャンネルの設定方法は『機器全体の設定をする（システム設定）』(P.18) をご覧ください。

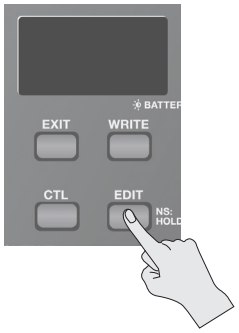
# 機器全体の設定をする（システム設定）

ME-80 全体で共通の設定を「システム設定」と呼びます。

## システム設定方法

**1.** **[MEMORY ／ MANUAL] ペダルを押して、マニュアル・モードに切り替えます（P.12）。**

**2.** **[EDIT] ボタンを押して、設定する項目を選びます。**




[EDIT] ボタンを押すごとに設定する項目が変わります。

**3.** **[BANK ▼] [BANK ▲] ペダルで、設定値を選びます。**

**4.** **[WRITE] ボタンを押します。**

設定が記憶されます。

## 設定項目一覧

| 設定項目 | 表示 | 説明 |
|---|---|---|
| つまみの動き | n0 | つまみを操作すると、即座にパラメーターの値が変化します（工場出荷設定）。 |
| | n1 | つまみの位置が現在のパラメーターの値と一致した時点から値が変化します。 |
| USB LEVEL | L0～L9 | ME-80 のエフェクトを通ってきた音にミックスする、パソコンからの入力音のレベルを調節します。 |

| 設定項目 | 表示 | 説明 |
|---|---|---|
| USB DIRECT MONITOR<br>※ 電源投入時設定は d1 | d0 | ME-80 の音を REC OUT/ PHONES 端子、Gt. AMP OUTPUT 端子に出力しません。 |
| | d1 | ME-80 の音を REC OUT/ PHONES 端子、Gt. AMP OUTPUT 端子に出力します。 |
| USB LOOPBACK | b0 | パソコンからの入力音を USB OUT に出力しません。 |
| | b1 | パソコンからの入力音も USB OUT に出力します。 |
| USB DRY REC | r0 | USB OUT から出力するギターの音に ME-80 のエフェクトを通します。 |
| | r1 | USB OUT から出力するギターの音に ME-80 のエフェクトを通しません。 |
| MIDI チャンネル設定 | c1～c9、c.0～c.6 | ch.1 ～ ch.9、ch.10 ～ ch.16 |
| チューナー使用時の出力設定 | t0 | チューナー使用時に音が出ません。 |
| | t1 | チューナー使用時に音が出ます。 |
| バンク切り替え時の動作 | H0 | バンク・ペダルを踏んでバンクを切り替えても、ディスプレイの表示が変化するだけでパッチは切り替わりません。ナンバー・ペダルを踏んだ時点でバンクとナンバーが確定され、次のパッチに切り替わります。 |
| | H1 | バンク、ナンバーのいずれかのペダルを踏んだ瞬間に次のパッチに切り替わります。 |
| マニュアル・モード切り替え時の動作 | m0 | メモリー・モードからマニュアル・モードに切り替えるときに、現在のつまみの設定が音に反映されます。 |
| | m1 | メモリー・モードからマニュアル・モードに切り替えるときに、メモリー・モードの設定をそのまま引き継ぎます。 |
| オート・オフ機能 | o0 | 自動で電源が切れません。 |
| | o1 | 演奏や操作をやめてから 10 時間経過すると、自動的に電源が切れます（工場出荷設定）。 |

# 工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

ME-80 に記憶されている設定（ユーザー・パッチ、チューナーの基準ピッチ、つまみの反応のしかた）を工場出荷時の設定に戻すことができます。

**1.** **[MEMORY ／ MANUAL] ペダルを押して、マニュアル・モードに切り替えます（P.12）。**

**2.** **[EDIT] ボタンを押しながら [MOD] ペダルを押します。**

ディスプレイに「FA」と表示されます。

**3.** **[WRITE] ボタンを押します。**

チューニング・ガイドが点滅します。

**4.** **もう一度 [WRITE] ボタンを押します。**

ディスプレイが点滅し、ファクトリー・リセットが実行されます。

※ ファクトリー・リセットの実行中は、絶対に電源を切らないでください。

# 資料

## トラブルシューティング

| トラブル | 確認事項 | 対処 |
|---|---|---|
| **音に関するトラブル** | | |
| **音が出ない／音が小さい** | 接続ケーブルが断線していませんか？ | 接続ケーブルを交換してみてください。 |
| | 他の機器と正しく接続されていますか？ | 他の機器との接続を確認してください（P.3）。 |
| | 接続しているアンプ／ミキサーの電源が入っていない、またはボリュームが下がっていませんか？ | 接続している機器の設定を確認してください。 |
| | [OUTPUT LEVEL] つまみが下がっていませんか？ | つまみを適切な位置に調節してください（P.2）。 |
| | チューナーがオンになっていませんか。 | チューニング中はエフェクトがかかりません。 |
| | 各エフェクトは正しく設定されていますか？ | 各エフェクトの設定内容を確認してください。 |
| | 「USB LEVEL」（P.17）が小さな値になっていませんか？ | 適切な値に調節してください。 |
| | 電池が減っていませんか | 新しい電池に入れ替えてください。 |
| **INPUT 端子に接続している機器の音がヘッドホンで聴こえない** | 「USB DIRECT MONITOR」(P.18) が「OFF」になっていませんか？ | 「ON」にしてください。 |
| **AUX IN 端子に接続した機器の音量が小さい** | 抵抗入りの接続ケーブルを使用していませんか？ | 抵抗の入っていない接続ケーブルをご使用ください。 |
| **発振音がする** | エフェクトの設定で、ゲインの値や音量に関するパラメーターの値が大きすぎませんか？ | 値を小さくしてください。 |
| **その他のトラブル** | | |
| **パッチが切り替わらない** | バンク切り替え時の動作の設定 (P.13) が *H0* になっていませんか。 | バンク切り替え時の動作の設定 (P.13) が *H0* になっているときは、ナンバー [1] ～ [4] ペダルを押すまでパッチは切り替わりません。 |
| **パラメーターが思ったようにコントロールできない** | エフェクトがオフになっていませんか？ | エクスプレッション・ペダルやフットスイッチで操作するときには、コントロールするパラメーターを含むエフェクトがエフェクト・オンになっていることを確認してください。 |
| | MIDI コントローラー・ナンバーが一致していますか？ | 使用しているコントローラー・ナンバーが一致していることを確認してください（P.17）。 |
| | エクスプレッション・ペダルの調整がズレていませんか？ | 本機のエクスプレッション・ペダルは、最適な動作をするように工場出荷時に調整してありますが、経年変化や使用環境によって、この調整がズレる場合があります。エクスプレッション・ペダルの調整をしてください（P.15）。 |
| **フレーズ・ループで作成したフレーズが保存できない** | ME-80 は、フレーズ・ループで作成したフレーズを保存することはできません。 | |

## 主な仕様

### BOSS ME-80：ギター・マルチプル・エフェクツ

| | |
|---|---|
| **AD 変換** | 24 ビット+ AF 方式<br>※ AF 方式 (Adaptive Focus method) は AD コンバーターの SN 比を飛躍的に向上させるローランド／ボス独自の方式です。 |
| **DA 変換** | 24 ビット |
| **サンプリング周波数** | 44.1kHz |
| **パッチ** | 36（ユーザー）+36（プリセット） |
| **ペダル** | ペダル・スイッチ× 8 |
| | エクスプレッション・ペダル× 1 |
| **規定入力レベル** | GUITAR INPUT：-10dBu |
| | AUX IN：-20dBu |
| **入力インピーダンス** | GUITAR INPUT：1M Ω |
| | AUX IN：27k Ω |
| **規定出力レベル** | Gt. AMP OUTPUT L/MONO、R：-10dBu |
| | REC OUT/PHONES：-10dBu |
| **出力インピーダンス** | Gt. AMP OUTPUT L/MONO、R：2k Ω |
| | REC OUT/PHONES：44 Ω |
| **推奨負荷インピーダンス** | Gt.AMP OUTPUT L/MONO、R：10k Ω以上 |
| | REC OUT/PHONES：16 Ω以上 |

| | |
|---|---|
| **接続端子** | GUITAR INPUT 端子：標準タイプ |
| | Gt. AMP OUTPUT L/MONO、R 端子：標準タイプ |
| | REC OUT/PHONES 端子：ステレオ・ミニ・タイプ |
| | AUX IN 端子：ステレオ・ミニ・タイプ |
| | USB COMPUTER 端子：USB タイプ B |
| | DC IN 端子 |
| **ディスプレイ** | 7 セグメント 2 桁 LED |
| **電源** | アルカリ電池（単 3 形）×6、または<br>マンガン電池（単 3 形）×6、または<br>AC アダプター |
| **連続使用時の電池の寿命** | アルカリ電池：7 時間<br>マンガン電池：2 時間<br>（使用状態によって異なります） |
| **消費電流** | 200mA |
| **外形寸法** | 447（幅）×231（奥行）×70（高さ）mm<br>ペダル傾き最大時：<br>447（幅）×231（奥行）×91（高さ）mm |
| **質量** | 3.6kg（電池を含む） |
| **付属品** | 取扱説明書、アルカリ電池（単 3 形）×6、保証書、ローランド ユーザー登録カード、「はじめにお読みください」チラシ |
| **別売品** | AC アダプター（PSA-100） |

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# プリセット・パッチ一覧

| パッチ・ナンバー | パッチ・ネーム | パッチ解説 | PU |
|---|---|---|---|
| 1-1 | ROCK LEAD | ソロに適した伸びのあるディストーション・サウンドです。 | S/H |
| 1-2 | METAL AMP | 強力に歪むメタルサウンドです。[CTL] ペダルで OCTAVE が ON になり、さらにヘビーになります。 | H |
| 1-3 | FUZZ ECHO | TERA ECHO を使用した 70 年代のプログレッシブ・ロック向きの幻想的なサウンドです。 | S |
| 1-4 | SPACE CLEAN | アルペジオに適した空間的広がりのあるクリーン・サウンドです。 | S/H |
| 2-1 | OVERTONE DIST | 歪みと OVERTONE を使用した倍音豊かな DISTORTION サウンドです。[CTL] ペダルで OVERTONE を ON/OFF できます。 | S/H |
| 2-2 | BLUES LEAD | ブルースに適したクランチ・サウンドです。 | S/H |
| 2-3 | DS DRIVE | バッキングに適した粗い歪みのディストーション・サウンドです。 | S/H |
| 2-4 | METAL RIFF | リフに適したメタル・サウンドです。[CTL] ペダルで FLANGER が ON になります。 | H |
| 3-1 | 60s FUZZ | UNI-V を使用した 60 年代のファズ・サウンドです。エクスプレッション・ペダルでスピードが変化します。 | S/H |
| 3-2 | 70s HARD ROCK | 70 年代のハード・ロックに適したドライブ・サウンドです。 | S/H |
| 3-3 | 80s METAL | 80 年代のメタルに適したディストーション・サウンドです。 | H |
| 3-4 | 90s ALTERNATIVE | 90 年代のオルタナティブ・ロックのサウンドです。 | S/H |
| 4-1 | PHASE LEAD | PHASER を使用したハード・ロック・サウンドです。[CTL] ペダルで FLANGER を ON できます。 | H |
| 4-2 | VO CRUNCH | コード弾きに適したクランチ・サウンドです。 | S/H |
| 4-3 | METAL 4 Single | シングル・コイル・ピックアップに適したメタル・サウンドです。 | S |
| 4-4 | CLEAN RHYTHM | カッティングに適したタイトなクリーン・サウンドです。[CTL] ペダルで PHASER が ON になります。 | H |
| 5-1 | SURF TREMOLO | 60 年代のサーフ・ロックに適したトレモロ・サウンドです。 | S |
| 5-2 | COUNTRY ECHO | カントリー風スラップ・バック・エコーのサウンドです。 | S |
| 5-3 | T-WAH FUNK | T.WAH を使用したファンク向きのクリーン・サウンドです。 | S |
| 5-4 | JAZZ 4 NECK PU | フロント・ピックアップに適したジャズ・サウンドです。 | H |
| 6-1 | WAH LEAD | PEDALWAH と DISTORTION を組み合わせたソロに適したサウンドです。 | S/H |
| 6-2 | FUSION LEAD | ジャズ・フュージョン向きのリード・サウンドです。 | S/H |
| 6-3 | PUNK DRIVE | パンク・ロックに適したドライブ・サウンドです。 | S/H |
| 6-4 | COMP CRUNCH | COMPRESSOR を使用したソロ向きのクランチ・サウンドです。 | S |
| 7-1 | CLEAN WAH | カッティングに適したクリーンなペダル・ワウのサウンドです。 | S/H |
| 7-2 | PEDAL BEND | エクスプレッション・ペダルの操作により音程が 2 オクターブ上に変化します。単音フレーズに適しています。 | S/H |
| 7-3 | ROTARY CRUNCH | 70 年代風のロータリー・サウンドです。エクスプレッション・ペダルでスピードが変化します。 | S/H |
| 7-4 | TALK PEDAL | エクスプレッション・ペダル操作によりトーキング・モジュレーター風の効果が得られます。 | S/H |
| 8-1 | LATIN LEAD | ラテン・ロックに適した甘いドライブ・サウンドです。エクスプレッション・ペダルでディレイの音量が変化します。 | S/H |
| 8-2 | LIVERPOOL CLEAN | 60 年代のリバプール・サウンドに適したクリーン・サウンドです。 | S |
| 8-3 | Single to Hum | シングル・コイル・ピックアップをハムバッキング風のクリーン・サウンドに変えます。 | S |
| 8-4 | E.gtr to A.gtr | エレクトリック・ギターの音をアコースティック・ギター風のサウンドに変えます。 | S |
| 9-1 | Am/C TWIN LEAD | A マイナー（C メジャー）の単音フレーズに適したツイン・リード風のディストーション・サウンドです。 | S/H |
| 9-2 | SYNTHY LEAD | SLOW GEAR によるシンセ風のサウンドです。 | S |
| 9-3 | DEFRETTER | フレットレス・ギターのサウンドです。 | S |
| 9-4 | FREEZE | エクスプレッション・ペダルを踏み込むと音が持続する FREEZE のサウンドです。 | S/H |

※ 表の「PU」は、各パッチに適したピックアップの種類を表しています。

- S= シングル・コイル・ピックアップに最適なパッチ
- H= ハムバッキング・ピックアップに最適なパッチ

# 安全上のご注意

## 火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。 |
| ⚠ 注意 | 取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。<br>※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。 |

図記号の例

| | |
|---|---|
| | △は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。 |
| | ⃠は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。 |
| | ● は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、● の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。 |

以下の指示を必ず守ってください

### ⚠ 警告

**完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く**

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

### ⚠ 警告

**Auto Off 機能について**

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off機能を解除してください(P.18)。

### ⚠ 注意

**指などをはさまないように注意する**

下記の可動部を操作するときは、指などをはさまないように注意してください。お子様が使用されるときは、大人のかたが監視／指導してください。

・エクスプレッション・ペダル（P.11）

# 使用上のご注意

### 電源について

・本機は消費電流が大きいため、AC アダプターの使用をおすすめします。電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。

### 電池について

・付属の電池は動作確認用のため、寿命が短い場合があります。

・電池の消耗が著しいと音が歪みやすくなることがありますが故障ではありません。このようなときは電池を交換、または AC アダプターを使用してください。

・電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。

・AC アダプターを本機から抜いておかないと、電池駆動では使えません。

### 設置について

・設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。ゴム足の下にフェルトなどの布を敷くと、安心してお使いいただけます。この場合、本機が滑って動いたりしないことを確認してからお使いください。

### お手入れについて

・通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。

### 修理について

・修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

・当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

### その他の注意について

・記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。

・失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。

・エクスプレッション・ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監視／指導してください。

### 著作権について

・第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。

・第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。

・本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eCROS ™」が搭載されています。

・Roland、BOSS、COSM、Overdrive、Metal Zone、Crunch、Touch Wah、HARMONIST は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の商標または登録商標です。

# 索引


欧字

A
AC . . . . . 9
AC SIM . . . . . 5
ANALOG . . . . . 8
ATTACK . . . . . 5
AUX IN 端子 . . . . . 3

B
BLUES . . . . . 6
BOOST . . . . . 6、10

C
CHO + DELAY . . . . . 8
CHORUS . . . . . 7、10
CLEAN . . . . . 9
COMBO . . . . . 9
COMP . . . . . 5
COMP/FX1 . . . . . 5
CORE . . . . . 6
CRUNCH . . . . . 9
CTL 設定モード . . . . . 16
［CTL］ペダル . . . . . 16、17
［CTL］ボタン . . . . . 2

D
DC IN 端子 . . . . . 3
DEFRETTER . . . . . 5
DELAY . . . . . 7、8、10、14
DISTORTION . . . . . 6
DRIVE . . . . . 9

E
［EDIT］ボタン . . . . . 2
EQ . . . . . 10
EQ/FX2 . . . . . 10
［EXIT］ボタン . . . . . 2

F
FLANGER . . . . . 7
FUZZ . . . . . 6

G
Gt. AMP OUTPUT 端子 . . . . . 3
GUITAR INPUT 端子 . . . . . 3

H
HALL . . . . . 11
HARMONIST . . . . . 7、14
Hum > Single . . . . . 5

L
LEAD . . . . . 9
LEVEL . . . . . 5

M
［MEMORY ／ MANUAL］ペダル 2
METAL . . . . . 9
METAL DS . . . . . 6
MIDI チャンネル設定 . . . . . 18
MOD . . . . . 7
MODULATE . . . . . 8
MODULATION . . . . . 14
MOMENTARY . . . . . 16

N
NS . . . . . 9

O
OCTAVE . . . . . 5
OCT FUZZ . . . . . 6
OD/DS . . . . . 6
［OUTPUT LEVEL］つまみ . . . . . 2
OVERDRIVE . . . . . 6
OVERTONE . . . . . 7、14

P
PEDAL FX . . . . . 11
PHASER . . . . . 7、10
PHRASE LOOP . . . . . 8、14、15
PITCH SHIFT . . . . . 7、14
［POWER］スイッチ . . . . . 3、4
PREAMP . . . . . 9

R
REC OUT/PHONES 端子 . . . . . 3
REVERB（リバーブ） . . . . . 11
REVERSE . . . . . 8
RING MOD . . . . . 5
ROOM . . . . . 11
ROTARY . . . . . 7

S
Single > Hum . . . . . 5
SLOW GEAR . . . . . 5
SOLO . . . . . 5
STACK . . . . . 9
SUSTAIN . . . . . 5

T
TAPE . . . . . 8
TEMPO . . . . . 8、14
TERA ECHO . . . . . 8、14
TOGGLE . . . . . 16
TREMOLO . . . . . 7、10
T-SCREAM . . . . . 6
TURBO DS . . . . . 6
TURBO OD . . . . . 6
T.WAH DOWN . . . . . 5
T.WAH UP . . . . . 5
TWEED . . . . . 9

U
UNI-V . . . . . 7
USB COMPUTER 端子 . . . . . 3
USB DIRECT MONITOR . . 17、18
USB DRY REC . . . . . 17、18
USB LEVEL . . . . . 17、18
USB LOOPBACK . . . . . 17、18
USB オーディオの流れ . . . . . 17
USB 接続 . . . . . 17
USB ドライバー . . . . . 17

V
VIBRATO . . . . . 7

W
［WRITE］ボタン . . . . . 2

かな

あ
アナログ・ディレイ . . . . . 8

い
イコライザー／エフェクト 2 . . . . 10

え
エクスプレッション・ペダル 2、17
エクスプレッション・ペダルの調整 . . . . . 15
エフェクトの接続順 . . . . . 5

お
オート・オフ機能 . . . . . 18
オーバーダビング . . . . . 15
オーバードライブ／ディストーション . . . . . 6
音色を保存 . . . . . 12

き
基準ピッチ . . . . . 4

こ
工場出荷時の設定 . . . . . 18
コントロール・チェンジ情報 . . . 17
コンプレッサー／エフェクト 1 . . . 5

し
システム設定 . . . . . 18

す
スレッショルド . . . . . 9

た
タップ・テンポ . . . . . 14

ち
チューナー . . . . . 4
チューナー使用時の出力設定 . . . 18

つ
つまみの動き . . . . . 18

て
ディスプレイ . . . . . 2
ディレイ . . . . . 8、10
ディレイ・タイム . . . . . 8、14
テープ・エコー . . . . . 8
電源を入れる . . . . . 4

と
盗難防止用ロック . . . . . 3
トラブルシューティング . . . . . 19

の
ノイズ・サプレッサー . . . . . 9

は
パッチ . . . . . 12
パッチ・ライト . . . . . 12
バンク切り替え時の動作 . . . 13、18

ふ
ファクトリー・リセット . . . . . 18
プリアンプ . . . . . 9
フレーズ・ループ . . . . . 15

へ
ペダル・エフェクト . . . . . 11
ペダル・スイッチ . . . . . 2

ま
マニュアル・モード . . . . . 2、12
マニュアル・モード切り替え時の動作 . . . . . 18

め
メモリー・エディット・モード . . 13
メモリー・モード . . . . . 2、12

も
モジュレーション . . . . . 7

り
リバーブ . . . . . 11

## お問い合わせの窓口

● 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間：　月曜日～金曜日　10:00～17:30（弊社規定の休日を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ　**http://www.roland.co.jp/**

'13. 04. 01 現在（Roland）

**ボス株式会社**
〒 431-2103 静岡県浜松市北区新都田一丁目 5 番 3 号

* 5 1 0 0 0 3 7 4 0 7 - 0 2 *